

製品名: AIFL ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06700**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	67kDa

抗原情報

遺伝子名	AIFM3
別名	AIFM3; AIFL; Apoptosis-inducing factor 3; Apoptosis-inducing factor-like protein
遺伝子 ID	150209.0
SwissProt ID	Q96NN9
免疫原	抗血清はヒト AIFM3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

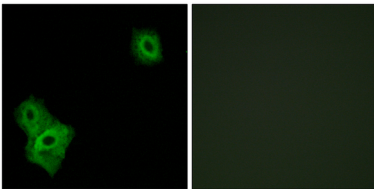
背景

ドメイン: Rieske ドメインはアポトーシスを誘導します。機能: カスパーゼ依存経路を介してアポトーシスを誘導します。ミトコンドリア膜電位を低下させます。類似性: FAD 依存性酸化還元酵素ファミリーに属します。類似性: 1つの Rieske ドメインを含みます

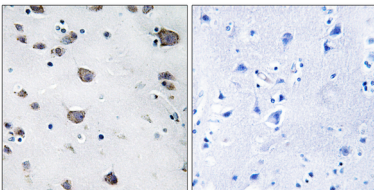
す。細胞内局在: アポトーシス誘導時に核に移行しません。組織特異性: 普遍的に存在します。骨髄、大脳皮質、肝臓、卵巣、胸腺、甲状腺、舌 (タンパク質レベル) に発現します。ドメイン: Rieske ドメインはアポトーシスを誘導します。機能: カスパーゼ依存経路を介してアポトーシスを誘導します。ミトコンドリア膜電位を低下させる。類似性: FAD 依存性酸化還元酵素ファミリーに属する。類似性: 1つの Rieske ドメインを含む。細胞内局在: アポトーシス誘導時に核に移行しない。組織特異性: 普遍的に存在する。骨髄、大脳皮質、肝臓、卵巣、胸腺、甲状腺、舌 (タンパク質レベル) に発現する。

研究分野

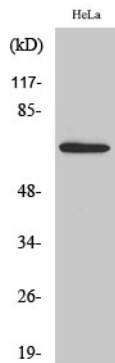
画像データ



AIFM3 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



AIFM3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



AIFL ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析